

## ◎ 聴解問題スクリプト

Track 22

13番 男子学生と女子学生が本の読み方について話しています。この女子学生は、これから、どのように本を読みますか。

男子学生：ずいぶん分厚い本を読んでるね。

女子学生：あ、先輩。先生から読んでおくようによって紹介された本なんです。

男子学生：へえ、大変そうだなあ。

女子学生：ええ、一日にたくさんは読めないから、読む時間を決めて毎日少しずつ読むようにしてるんですけど、途中で挫折しちゃうそうで……。

男子学生：ああ、最後まで読めないってこと、あるよね。

女子学生：はい。でも、後ろのほうにまとめとか大事なことが書いてあるかもしれないし。

男子学生：そうだね。だから僕は、まずはじめに全体をざっと見て、大切だと思うところから先に読むようにしているよ。

女子学生：へえ、本は最初から読み進めなくちゃいけないと思っていたから、そういう読み方って考えたことがなかったです。

男子学生：どこが大切なのか優先順位をつけるのも、意外に勉強になるよ。

女子学生：じゃ、私もこれからその方法で読んでみます。

この女子学生は、これから、どのように本を読みますか。

1. 毎日少しずつ読み進める。
2. 一日に読む量を増やす。
3. 後ろから読み始める。
4. 重要なところから読む。

Track 23

14番 先生が、生物学の授業で、都会の公園について話しています。この先生は、都会の公園をどのようにしたほうがいいと言っていますか。

緑が少ない都会において、公園は私たち人間にとって心地よい空間ですが、同時に昆虫など小さな生き物のすみかとしても大切な場所です。きれいに手入れされた木と芝生のある公園もいいかもしれませんが、そこをすみかとする生き物は種類に限られます。そこで私は、公園の一部だけでもいいので、枯れ木や枯れ枝、落ち葉などをそのまま放置しておけないかと考えています。都会の公園では、元気な木だけを残して、枯れ木や落ち葉を危険だとか汚いという理由で片付けてしまうことが多いですね。しかし、人間にとっては汚く見える枯れ木や落ち葉も、そこをすみかとする生物にとっては大切な環境なのです。そのような環境があれば、より多くの種類の虫やそれをえさとする小動物が増えるでしょう。

この先生は、都会の公園をどのようにしたほうがいいと言っていますか。

1. たくさんの種類の木を植える。
2. 芝生の手入れをきちんとする。
3. 都会でも育つ元気な木を植える。
4. 枯れ木などを少し残しておく。

Track 24

15番 アナウンサーと女性が、照明デザインという仕事について話しています。この女性が、デザインをするときに気をつけているのはどんなことですか。

アナウンサー：照明デザインというお仕事についてお聞かせ下さい。

女性：照明というと夜つける明かりをイメージする人が多いかもしれませんが、昼間でも照明が必要なところもありますよね。

アナウンサー：例えば、お店やホテルなどですか。

女性：はい。ただ照らすだけではなくて、商品をよりよく見せたり、お客さんが楽しい気持ちになるような照明をつくります。

アナウンサー：省エネが求められる時代なのに、昼間の照明なんて無駄だと言われたりしませんか。

女性：そうですね。地球環境への負担を最小限におさえて、いかに効果的に照らすかを考えなくてははいけません。ですから、どんなに美しい照明をデザインしているときであっても、このことは忘れないようにしています。

この女性が、デザインをするときに気をつけているのはどんなことですか。

1. 店やホテルの客がまぶしく感じないようにすること
2. 商品がよく見えるように明るく照明をあてること
3. できるだけ少ないエネルギーで効果的な照明にすること
4. できるだけ多くの色の照明を使うこと

Track 25

16番 心理学の専門家が、人に与える印象について話しています。この専門家は、初めて人に会うとき、相手にいい印象をもってもらうためには、どうしたらいいと言っていますか。

いい人間関係を作るためには、相手と初めて会ったときに、いい印象をもってもらうことが大切です。だれでも、人に初めて会うときは不安で、相手のことをよく知りたいと思っていますから、そのときの印象は強く心に残るものなのです。

では、最初にいい印象をもってもらうためには、どうすればいいのでしょうか。人が相手から受け取る情報は、言語のように耳から入ってくるものよりも、目から入ってくるもののほうが多いということがわかっています。ですから、何をどんなふうと言うか、ということよりも、背筋を伸ばして立っていることや笑顔でいることなどが重要なのです。

この専門家は、初めて人に会うとき、相手にいい印象をもってもらうためには、どうしたらいいと言っていますか。

1. 言葉の使い方に気をつける。
2. 面白い話題を選ぶ。
3. 態度や表情に気をつける。
4. 大きな声で笑う。

Track 26

17番 男子学生と女子学生が、心理学の授業で取りあげられた問題について話しています。この男子学生は、この問題に誤った答えを出す人が多いのはなぜだと言っていますか。

男子学生：ねえ、英語の単語で、Kから始まる単語と、三番目にKがくる単語とどっちが多いと思う？

女子学生：え、そうだなあ、Kからはじまる単語じゃない。

男子学生：残念。三番目にKがくる単語のほうがずっと多いんだよ。

女子学生：そっか……。私、英語は苦手なんだよね……。

男子学生：実は、心理学の授業でこの問題をやったんだけど、クラスのほとんどが君と同じ答えだったんだよ。

女子学生：ああ、周りの学生の答えに左右された人が多かったのかもね。それに、心理学の授業で突然英語の問題が出たら、なかなか冷静に考えられないんじゃないかな。

男子学生：まあね。でも、この問題、英語が母国語の人にしても、答えは同じなんだって。Kが最初に来る単語は簡単に思い出せるけど、三番目に来る単語を思い出さるのが難しいだろう？ 結局、思い出した単語の数だけで判断して誤った答えを出してしまうようだよ。

女子学生：へえ、なるほどね。

この男子学生は、この問題に誤った答えを出す人が多いのはなぜだと言っていますか。

1. 外国語では正しい判断ができないから
2. 周りの人の答えに影響されてしまうから
3. 予期しない問題には冷静に判断できないから
4. すぐに思いつく手がかりに頼って判断するから

Track 27

18番 先生が、生物学の授業で、魚が自分の身を守る方法について話しています。この先生は、魚が敵に見つかりにくいのはどうしてだと言っていますか。

海にいる小さな魚は、大きな他の生き物に食べられます。ですから、小さな魚には、それを逃れる工夫がいろいろ見られます。

例えば、海の中でも比較的浅いところを泳ぐ魚の場合、お腹が白っぽくなっています。これは、深いところにいる魚が、海の中から上を見たとき、水面がキラキラ白く輝いて見えるのに合わせているのです。また、空から見た場合にも、目立たないように、背中が海の色に合わせて青っぽくなっています。魚の敵は水中だけにいるとは限らないので、空から魚をねらう鳥に見つかりにくくしているのです。

この先生は、魚が敵に見つかりにくいのはどうしてだと言っていますか。

1. 海の浅いところを泳いでいるから
2. 敵によって見せる体の向きを変えているから
3. 敵が近づくと体の色が変わるから
4. 体の色が周りの色と同じように見えるから

19番 先生が、新聞を読むことの効果について話しています。この先生が、新聞を読むように勧める一番の理由は何ですか。

「レポートをうまくまとめられない」とか「プレゼンテーションが苦手で困っている」という声を聞くことがあります。そんなとき、私は「新聞に目を通しなさい」とこたえています。新聞を読むことによる最もわかりやすい効果は、漢字の熟語や抽象的な言葉が知らず知らずのうちに習得できるということです。レポートやプレゼンテーションなどの文章で使われるのは、日常会話ではあまり触れることのない、こうした言葉です。本を読むことが好きな人も多いかもしれませんが、小説などの文学作品には、実はこうした言葉はあまり出てきません。新聞が最適な教材なのです。

インターネットを使えば、さまざまな分野の情報を簡単に探せる時代ですが、レポートやプレゼンテーションの上達への近道は、「新聞の記事に毎日目を通す」という一見地味な方法なのだと覚えておいてください。

この先生が、新聞を読むように勧める一番の理由は何ですか。

1. さまざまな分野の情報を簡単に探せるから
2. 文章作成に役立つ語彙を学べるから
3. 文学作品の理解が深まるから
4. 日常会話の話題が増えるから

20番 男子学生と女子学生が、あるウェブサイトについて話しています。この男子学生は、このウェブサイトのどんなところがいいと言っていますか。

男子学生：ちょっと便利なウェブサイトを見つけたんだ。質問を打ち込むと、それについてよく知っている人が、例えば、「このサイトを見るといいよ」って教えてくれるんだよ。

女子学生：へえ、それって無料なの？

男子学生：いや、少しお金がかかるんだ。

女子学生：じゃあ、だれでも利用できる検索用のウェブサイトに、キーワードを入れて自分で調べたほうがいいんじゃない。

男子学生：でも、それだと、自分が知りたいことと全然関係がないものも出てくるときがあるよね。どれを見たらいいかわからないってことも多いと思わない？

女子学生：そうか。でも、教えてもらった情報が信用できるかどうかはわからないよね。

男子学生：うん、それは、自分で判断しないとね。

この男子学生は、このウェブサイトのどんなところがいいと言っていますか。

1. 回答者を指定できるところ
2. お金をかける必要がないところ
3. ほしい情報がどこにあるかわかる場所
4. 信頼できる情報が得られる場所

Track 30

21番 先生が、ある会社が製造、販売したパソコンについて話しています。この先生は、この会社のパソコンの特徴は何だと言っていますか。

現在、ある会社のパソコンが日本やアメリカなどの先進国で売り上げを伸ばしています。しかし、実は、このパソコンは元々そのような国での販売を目的としたものではなかったのです。

この会社がパソコンの製造、販売を始めた当初、先進国のパソコン市場では、すでに高度な機能が備わったさまざまなパソコンが販売されており、この会社が市場に入る余地はほとんどありませんでした。そこで、発展途上国の市場に向けて製品を販売することにしたのですが、それにあたって、高度な機能を省き、古い型の部品を使うことで、従来のものに比べて低価格のパソコンを製造し、販売しました。このパソコンが、結果的に「気軽に使える二台目のパソコンがほしい」という消費者の多い先進国から大きな需要を得ることになったのです。

この先生は、この会社のパソコンの特徴は何だと言っていますか。

1. 最新の部品や機能を備えている。
2. 機能を限定し、価格を抑えている。
3. 発展途上国だけで販売されている。
4. 他の会社と共同で製造されている。

Track 31

22番 記者が、研究者に、砂漠の緑化について質問しています。この研究者が行っているのは、何を知るための研究ですか。

記者：砂漠に植物を増やす、緑化の問題は、いろいろな分野の専門家がチームを作って取り組んでいらっしゃるそうですね。

研究者：はい。私のチームは、地球上の水の循環や気候条件を解析しています。

記者：その研究は、緑化とどんな関係があるんですか。

研究者：砂漠に植物を植えても、雨が降らなければ、植物は枯れてしまいます。そこで、砂漠の気候を解析したところ、湿度の高い空気が流れ込んでいる地域があることがわかりました。そういうところに木を植えて森を作れば、森から蒸発する水分によって上空の空気がますます湿気を帯びるので、自然に雨雲ができ、雨が降る

よくなるのではないかと考えています。これから、この点を実証していきたい  
と思います。

記者：砂漠にただ木を植えればいい、というわけではないんですね。

研究者：ええ、緑を保つことができるしくみが必要なんです。

この研究者が行っているのは、何を知るための研究ですか。

1. 砂漠に植物が増えるスピード
2. 砂漠ができていく原因
3. 砂漠に適した植物の種類
4. 砂漠で木を植えるのに適した場所

### Track 32

23番 建築の専門家が、家を建てるときの注意点について話しています。この専門家が最も言いたいことは何ですか。

日本では、家を建てる際に接着剤や合板を使用することが多いですが、そこに含まれる化学物質が原因でアレルギー症状など、体の不調を起こすことがあります。最近、こういった化学物質を含む素材を用いず自然のものを使えば、住む人にも環境にも優しいと考え、天然の素材に注目する人が増えています。自然、天然と聞くと安全というイメージを持ちますよね。しかし実際は、天然の材料からもさまざまな物質が放出されています。人によっては、その天然由来の物質にも反応することがあります。このことを知らなかったばかりに、せっかく天然の素材を使って家を建てたのに、アレルギーの症状が出てしまうことがあるのです。新しく建てた家が、悩みの種にならないよう、こういう点にも注意しなくてははいけません。

この専門家が最も言いたいことは何ですか。

1. 天然の素材はアレルギーの原因にはならないこと
2. 天然の素材はアレルギーの原因になり得ること
3. 化学物質はアレルギーの原因にはならないこと
4. 化学物質はアレルギーの原因になり得ること

### Track 33

24番 先生が、植物学の授業で、ある二種類の植物について説明しています。この先生の話によると、セイタカアワダチソウという草が一度増えたあとに減るのはどうしてですか。

日本では空き地や川原に、ススキという草がよく見られますが、最近では、新しく外国から入ってきたセイタカアワダチソウという草もよく見られるようになりました。この草

には、根から、周りの植物の生長を抑える物質を出すという特徴があります。そのため、ススキの生えているところに、セイタカアワダチソウが入り込むと、ススキが減っていくのに対し、セイタカアワダチソウは増えて広がります。しかし、一度この草が増えると、植物の生長を抑える物質が土の中にたまっていきます。それが一定の量を超えると、今度はこの草自身の生長のスピードを遅らせて、数を減らしてしまうことにもなるのです。

この先生の話によると、セイタカアワダチソウという草が一度増えたあとに減るのはどうしてですか。

1. ススキに邪魔をされて、生長が止まるから
2. 自分自身が出す物質によって、生長が妨げられるから
3. 日本の環境に適応して、生長のスピードが遅くなるから
4. 生長に必要な土の中の栄養分が足りなくなるから

#### Track 34

**25番** 先生が、新しく開発されたガラスについて話しています。この先生は、新しいガラスを携帯電話の画面に使用した場合、どのような効果が期待できると言っていますか。

普段よく目にする透明なガラスは、どんなにきれいに磨かれていても、そこにガラスがあるということを認識できますよね。これは、ガラスが光を反射しているためです。ガラスの向こう側が暗く、こちら側が明るい、ガラスに自分の顔や周りの景色が映って、向こう側にあるものが見えにくくなります。皆さんも、携帯電話の画面やパソコンのディスプレイなどの文字が光の反射で読みにくくなった経験があると思います。

しかし最近、新しいガラスが開発されました。通常のガラスの反射率が4%なのに対し、この新しいガラスの反射率は0.08%です。光の反射率が低いと、どの角度から見てもガラスの存在がわからなくなります。そのため、この技術は、美術館の展示ケースや携帯電話の画面などへの応用が期待されています。

この先生は、新しいガラスを携帯電話の画面に使用した場合、どのような効果が期待できると言っていますか。

1. 画面の反射による文字の読みにくさが軽減される。
2. 画面に傷が入ったり割れたりする心配がない。
3. ガラスの重さを感じなくなり携帯電話が軽くなる。
4. 周囲から画面が見えにくくなりプライバシーを守れる。

#### Track 35

**26番** 先生が、子供に対するスポーツの指導方法について話しています。この先生が最後に挙げる例の場合、指導者は子供にどのように言うのがいいですか。



子供に対するスポーツの指導方法はいろいろありますが、目標を達成させるまでの時間の長さによって、どのように導くかを変える方法があります。もし短期的に子供の能力を伸ばしたければ、しかるのが一番効果的です。もう少し長い目で成長を促したい場合、つまり中期的に考えるなら、しかるよりほめたほうが、子供が気分よく練習や努力を続けることができ、その結果、能力も伸ばすことができます。そして、将来を見据えて、長期的な展望で指導を考える場合には、しかることもほめることもせず、自分で目標を設定させ、それを守らせるのがいいでしょう。

では、スイミングスクールで、25メートル泳ぐことができた子供について考えてみましょう。この子供の能力を中期的に伸ばしたいと思ったら、指導者は子供に対してどのように言うのがいいでしょうか。

この先生が最後に挙げる例の場合、指導者は子供にどのように言うのがいいですか。

1. まだ25メートルしか泳げないのか。
2. 25メートルも泳げるようになったなんて、すごいな。
3. 何メートル泳げるようになりたいんだ？
4. 水泳選手になってオリンピックに出ることを目標にきなさい。

### Track 36

27番 先生が、動物の群れの行動について説明しています。この先生は、トリヤサルなどの群れが一斉に天敵に姿を見せるのはどうしてだと言っていますか。

トリヤサルなどの群れが森の中で、天敵となる危険な動物に出合ったとき、どんな行動をとると思いますか。見つからないように急いで隠れると考える人が多いかもしれませんが、実は反対に、群れで一斉に姿を見せ、相手の前で大騒ぎすることのほうが多いのです。一見、捕まる危険性が高い無謀な行為のように見えるかもしれませんが、どうやらそんなことはないようです。実は獲物を襲う側にとっては、特定の個体にねらいを定め、見つからないようにそっと近づいて、一気に攻撃する方が集中力を持続できるので、楽なのです。獲物がここにもいる、あそこにもいる、という状況になると、的が絞れなくなってしまい、結局は襲うことをあきらめてしまうようです。襲われる側は、そうした習性を知っているんですね。

この先生は、トリヤサルなどの群れが一斉に天敵に姿を見せるのはどうしてだと言っていますか。

1. 集団で天敵に襲いかかるため
2. 獲物ではないと天敵に思わせるため
3. 天敵を混乱させるため
4. 他の仲間に危険を知らせるため